

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 20.4.8 第 169 回国会第 8 号

4 月 8 日、第 8 回の委員会が開かれました。

1 農業者戸別所得補償法案（参議院提出、第 168 回国会参法第 6 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻教授 鈴木 宣 弘君
東京農工大学名誉教授 梶 井 功君

・提出者参議院議員平野達男君（民主）、高橋千秋君（民主）及び舟山康江君（民主）並びに若林農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

中 川 泰 宏君（自民）

- ・現行の畜産・野菜政策に対して、両参考人はどのように評価しているか。
- ・穀物自給率の向上や農業後継者の育成に向け、農業経営の法人化が必要と考えるが、両参考人はどのように考えているか。
- ・限界集落に対し、国全体の責任で措置する必要があると考えるが、両参考人はどのように考えているか。

石 川 知 裕君（民主）

- ・品目横断的経営安定対策がうまく機能しなかった理由について、両参考人はどのように考えているか。
- ・品目横断的経営安定対策の見直しによる効果について、両参考人はどのように考えているか。
- ・現行施策により米価の下落傾向に歯止めがかかる可能性と今後の施策の見直しについて、両参考人はどのように考えているか。

井 上 義 久君（公明）

- ・農政改革三対策への評価と今後の課題について、鈴木参考人はどのように考えているか。
- ・本法案により現状の農業構造が固定化されてしまう危険があると考え、梶井参考人はどのように考えているか。
- ・農業後継者問題及び生産調整の在り方について、梶井参考人はどのように考えているか。

菅 野 哲 雄君（社民）

- ・米価の下落傾向に歯止めをかけるための方策について、

両参考人はどのように考えているか。

- ・生産調整について、制度の在り方を見直す必要があると考えるが、両参考人はどのように考えているか。
- ・米の適正備蓄水準及び備蓄運営コストの削減策について、両参考人はどのように考えているか。

（提出者及び政府に対する質疑）

仲 野 博 子君（民主）

- ・本法案における飼料作物の位置付けについて、法案提出者はどのように考えているか。
- ・牧草地にデントコーンを作付けた場合も青刈とうもろこし生産緊急拡大事業の助成対象とすべきではないか。
- ・酪農経営における過重な労働時間の現状等を踏まえ、放牧を含めたゆとりのある酪農経営を確立すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているか。

佐々木 隆 博君（民主）

- ・品目横断的経営安定対策について、品目別・地域別の加入状況はどうなっているか。また、同対策の実績をどのように評価し、今後の改善につなげていくのか。
- ・本法案においては、米価の下落等に対応していくのか。
- ・家族経営を我が国農業の基本に据え、施策を推進すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えるか。

篠 原 孝君（民主）

- ・平成 17 年の食料・農業・農村基本計画において、小麦の生産努力目標を据え置いたのはなぜか。
- ・担い手経営安定新法及び本法案において、我が国の食料自給率の向上はどのように位置付けられているのか。

- ・EUに倣い、直接支払いの導入により大豆、なたね等の生産拡大を図っていくべきではないか。

菅野哲雄君(社民)

- ・米の生産調整手段として飼料米を位置付けたことで、今後その活用がどの程度進んでいくと考えているのか。また、主食用米との価格差を補てんするための支援措

置についてどのように考えるか。

- ・飼料米・WCS(ホール・クロップ・サイレージ)等飼料作物の生産振興の必要性について法案提出者はどのように考えているか。
- ・本法案において、転作作物として飼料米・WCS等飼料作物を作付する場合の支援はどのように位置付けられるのか。

2 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法案(内閣提出第38号)

- ・若林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。